



基本情報

施主	小牧市	愛知県小牧市堀の内3丁目1番地
意匠監修者	岡田 憲久	愛知県名古屋市長 (当初、名古屋造形大学名誉教授)
設計者	株式会社オオバ名古屋支店	愛知県名古屋市
構造設計	東海林建築設計事務所	愛知県春日井市
	TE-DOK	岐阜県美濃市
施工者	株式会社新東建設	岐阜県関市
	有限会社ライン工業	岐阜県可児市
主要構造	1階	木造(囲柱ラーメン木構造・板倉構法)
地域区分	その他の区域	
耐火等の要件	その他の建築物	
延床面積	91.98 m ²	
階数	地上1階	
木材使用量	22.152 m ³	
活用した補助金	あいち森と緑づくり税	
主な使用樹種	ヒノキ・スギ・カラマツ	

太良まめなしの里 みはらし小屋

所在地 愛知県小牧市宇大草太良上11番の一部
用途 研修、多目的交流等施設

施設概要

みはらし小屋は、愛知県小牧市の里山の風情が残る丘陵地に3つの「ため池」と愛知県天然記念物マメナシ自生地を含めた緑地「太良まめなしの里」に設けられました。近隣住民や隣接する工業団地勤務者のウォーキングや犬の散歩、昼食休憩の場、マメナシや野鳥の観察の場、若者・子供たちの自然観察の学習基地、地域住民が集う里山管理の拠点及び作業道具小屋も兼ねています。愛知県小牧市の建築であることから愛知県産木材を多用し、小屋を通してため池の水面が見えるようスパンを大きく飛ばすことのできる囲柱が採用されました。壁が不要で景色が見通せる意匠性のある囲柱ラーメン木構造を主軸に、板倉構法、在来軸組構法を適材適所に配置しています。2方向ラーメン、更に単独柱でも地震力に耐えうる構造設計としました。愛知県産ヒノキ、スギ、長野産カラマツを使用し、約17tのCO2削減に貢献しています。



1 1.5mの高低差をデザインに取り込み、右のグリッドは上段レベルのままで、壁の無いフレームだけで囲われた空間とし、中程はステップダウンさせて、腰掛けできる場を設けました。里山景観や希少なマメナシ自生地を活かすために、人工物である休憩施設を木造で作ることで、景観になじみながらも新しい現代的なデザインの建物となりました。2 囲柱ラーメン木構造は、1方向ラーメンの他、2方向ラーメン、片持単独柱で構成し、1.5mの高低差を構造的にクリアしています。強度不足が生じた箇所には壁で補強し、底を大きく張り出すためにキャンティ部のみ母屋を倍ピッチに設計しました。その跳ねだしたエリアは、金属屋根板を見せてシャープなデザインに仕上げました。3 洞（ぼら・浅い谷状の低地）の農景観にわけごようなトタン屋根の農業小屋をモチーフに、木造の在来工法と特殊工法（囲柱ラーメン木構造）を組み合わせ、ため池を見通すことのできる空間を実現しました。作業道具を納めるスペースは板倉構法で建築しました。柱と柱の間に杉板を落とし込むこの構法は、木材の使い方としても自然で、周囲の草木とよく馴染んでいます。扉はアクセントで、四季を通じて景色に溶け込む黄色にしました。4 精度・強度が必要な柱頭、柱脚は、工場生産により管理され、現地で木材を叩き込むことなく、ビス固定だけの簡易な作業は施工性が良好です。建方は1日で完了しました。

